

**製品名: CRTC3 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80952**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	68kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CRTC3
別名	TORC3; FLJ21868; CRTC3
遺伝子 ID	64784.0
SwissProt ID	Q6UUV7
免疫原	大腸菌で発現したヒト CRTC3 の精製された組み換え断片。

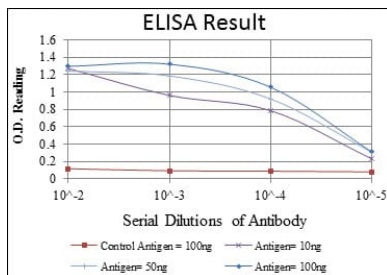
**背景**

CREB1 の転写コアクチベーターで、コンセンサスおよびバリエーション cAMP 応答エレメント (CRE) 部位の両方を介して転写を活性化します。SIK/TORC シグナル伝達経路においてコアクチベーターとして作用し、脱リン酸化時に活性化し、CREB1 の「Ser-133」リン

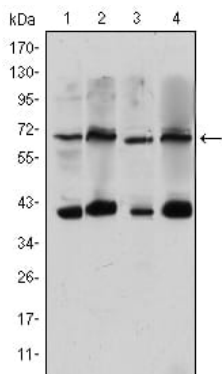
酸化とは独立して作用します。CREB1 と TAF4 の相互作用を強化します。ステロイド生成遺伝子 StAR などの特定の CREB 活性化遺伝子の発現を制御します。PPARGC1A の強力なコアクチベーターであり、筋細胞のミトコンドリア新生を誘導します。また、ヒト T 細胞白血病ウイルス 1 型 (HTLV-1) 長末端反復配列 (LTR) の TAX 活性化のコアクチベーターでもあります。組織特異性: 主に B リンパ球および T リンパ球で発現します。肺で最高レベルです。また、脳、結腸、心臓、腎臓、卵巣、前立腺でも発現します。肝臓、膵臓、筋肉、小腸、脾臓、胃では発現が弱い。

## 研究分野

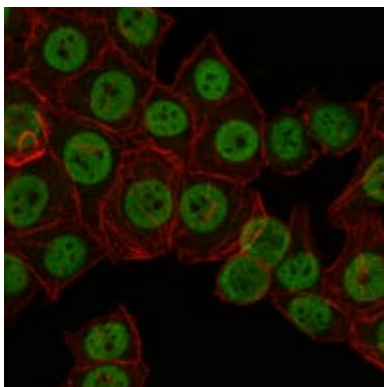
## 画像データ



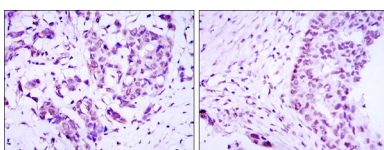
赤: コントロール抗原 (100 ng); 紫: 抗原 (10 ng); 緑: 抗原 (50 ng); 青: 抗原 (100 ng);



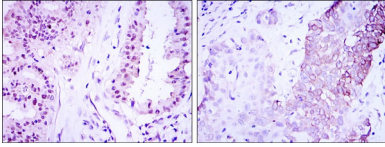
Hela (1)、Jurkat (2)、Cos7 (3)、MCF-7 (4) 細胞溶解物に対する CRTC3 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



CRTC3 マウス mAb (緑) を用いた NTERA-2 細胞の免疫蛍光染色。赤: アクチンフィラメントを Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識。



DAB 染色による CRTC3 マウス mAb を使用した、パラフィン包埋ヒト乳がん (左) および卵巣がん (右) の免疫組織化学分析。



DAB 染色による CRTC3 マウス mAb を使用した、パラフィン包埋ヒト肺がん (左) および食道がん (右) の免疫組織化学分析。